

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-12216

(P2010-12216A)

(43) 公開日 平成22年1月21日(2010.1.21)

(51) Int.Cl. F 1 テーマコード (参考)
A 6 1 F 13/15 (2006.01) A 4 1 B 13/02 A 3 B 2 0 0
A 6 1 F 13/49 (2006.01)

審査請求 未請求 請求項の数 15 O L (全 23 頁)

(21) 出願番号 特願2008-288421 (P2008-288421)
 (22) 出願日 平成20年11月11日(2008.11.11)
 (31) 優先権主張番号 特願2008-144073 (P2008-144073)
 (32) 優先日 平成20年6月2日(2008.6.2)
 (33) 優先権主張国 日本国(JP)

(71) 出願人 000110044
 株式会社リブドゥコーポレーション
 愛媛県四国中央市金田町半田乙45番地の2
 (74) 代理人 100110847
 弁理士 松阪 正弘
 (72) 発明者 大川 幸
 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字小山北89-1
 株式会社リブドゥコーポレーション徳島貞光工場内
 (72) 発明者 立川 亜希子
 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字小山北89-1
 株式会社リブドゥコーポレーション徳島貞光工場内

最終頁に続く

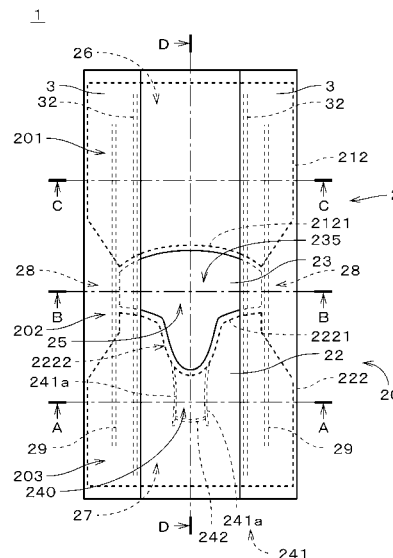
(54) 【発明の名称】 吸収性物品

(57) 【要約】

【課題】 吸収性物品の幅方向の中央において、後部吸収コアの開口近傍の部位の着用者に対する密着性を向上することにより、排泄物を後部ポケットに確実に収容する。

【解決手段】 吸収性物品1では、後部吸収コア222とバックシート23との間に後部ポケット27が形成され、後部吸収コア222の幅方向の中央領域には、コアエッジ2221から長手方向に沿って伸びるおよそ平行な一対の弱化線241a、および、一対の弱化線241aの間にて幅方向に沿って伸びる補助弱化線242が設けられる。吸収性物品1の着用時に、後部吸収コア222が弱化線241aおよび補助弱化線242にて折れ曲がることにより凸部240が形成され、凸部240が着用者の臀部の凹部に密着することにより、吸収性物品1の幅方向の中央において、後部吸収コア222の開口25近傍の部位の着用者に対する密着性が向上され、排泄物が後部ポケット27に確実に収容される。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着用者からの排泄物を受ける吸収性物品であって、
バックシートと、
前記バックシート上に重ねられて前記バックシートに接合され、着用者の股間部に対向する開口を有する吸収性シート部材と、

を備え、

前記吸収性シート部材が、

前記着用者の腹側に配置される前部吸収コアと、

前記着用者の背側に配置される後部吸収コアと、

前記前部吸収コアおよび前記後部吸収コアを被覆するとともに前記前部吸収コアと前記後部吸収コアとの間に前記開口が形成された透液性のコア被覆シートと、
を備え、

前記吸収性シート部材の前記前部吸収コアおよび前記後部吸収コアのうち一方の吸収コアの周囲が、前記開口およびその周辺部を除いて前記バックシートと接合されることにより、前記一方の吸収コアと前記バックシートとの間にポケットが形成され、

前記一方の吸収コアが、前記吸収性シート部材の長手方向に垂直な幅方向における中央領域に、前記開口近傍または前記開口に接するコアエッジから前記長手方向におよそ沿って伸びる弱化線群を有し、着用時に前記一方の吸収コアが前記弱化線群にて折れ曲がることにより、前記一方の吸収コアの前記中央領域に前記バックシートから離れる方向に突出する凸部が形成されることを特徴とする吸収性物品。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の吸収性物品であって、

前記長手方向において前記前部吸収コアが前記後部吸収コアよりも長く、

前記一方の吸収コアが前記前部吸収コアであることを特徴とする吸収性物品。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の吸収性物品であって、

前記一方の吸収コアが前記後部吸収コアであることを特徴とする吸収性物品。

【請求項 4】

請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

前記弱化線群が、前記一方の吸収コアにおいて長手方向に伸びるスリットである弱化線を含むことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の吸収性物品であって、

前記長手方向において、前記弱化線が前記一方の吸収コアの長さの半分よりも長いことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

前記弱化線群が、およそ平行な一対の弱化線を含むことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の吸収性物品であって、

前記開口から離れた位置において前記一対の弱化線の間にて前記幅方向におよそ沿って伸びる補助弱化線が前記一方の吸収コアに設けられることを特徴とする吸収性物品。

【請求項 8】

請求項 6 または 7 に記載の吸収性物品であって、

前記一対の弱化線の間の前記幅方向の距離が、前記開口から離れるに従って漸次減少することを特徴とする吸収性物品。

【請求項 9】

請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

前記一方の吸収コアの前記開口近傍または前記開口に接する前記コアエッジが、前記幅

10

20

30

40

50

方向の中央にて前記長手方向に凹状となる凹状部を有することを特徴とする吸収性物品。

【請求項 10】

請求項 1 ないし 9 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

前記吸収性シート部材が、前記幅方向の両側にて前記長手方向に伸びるとともに前記コア被覆シートに接合される一対の弾性部材をさらに備え、

前記一対の弾性部材が、少なくとも前記開口の前記幅方向の外側から前記一方の吸収コアに重なる位置まで設けられ、収縮することにより前記一方の吸収コアを他方の吸収コアに向かって引き寄せすることを特徴とする吸収性物品。

【請求項 11】

請求項 1 ないし 10 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

前記バックシートが、

撥水性または不透液性の外装シートと、

前記外装シートの上に積層された親水性シートと、

を備えることを特徴とする吸収性物品。

10

【請求項 12】

請求項 1 ないし 10 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

前記バックシートが、

撥水性または不透液性の外装シートと、

前記外装シートの上に設けられた高吸収性樹脂層と、

を備えることを特徴とする吸収性物品。

20

【請求項 13】

請求項 1 ないし 12 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

前記吸収性シート部材の前記幅方向の両側において前記長手方向のほぼ全長に亘って設けられた一対の側壁部をさらに備えることを特徴とする吸収性物品。

【請求項 14】

請求項 1 ないし 13 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

前記吸収性シート部材の前記前部吸収コアおよび前記後部吸収コアのうち他方の吸収コアの周囲が、前記開口およびその周辺部を除いて前記バックシートと接合されることにより、前記他方の吸収コアと前記バックシートとの間にもう 1 つのポケットが形成され、

前記他方の吸収コアが、前記吸収性シート部材の前記幅方向における前記中央領域に、前記開口近傍または前記開口に接するコアエッジから前記長手方向におよそ沿って伸びる弱化線群を有し、着用時に前記他方の吸収コアが前記弱化線群にて折れ曲がることにより、前記他方の吸収コアの前記中央領域に前記バックシートから離れる方向に突出する凸部が形成されることを特徴とする吸収性物品。

30

【請求項 15】

請求項 1 ないし 14 のいずれかに記載の吸収性物品であって、

着用者が着用する外装物品の内側に取り付けられる補助吸収具であることを特徴とする吸収性物品。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

40

【0001】

本発明は、着用者からの排泄物を受ける吸収性物品に関する。

【背景技術】

【0002】

従来より、使い捨ておむつ等の吸収性物品では、水分を多く含む軟便等が排泄された場合に、大便が着用者と吸収性物品との間で広がって着用者の肌に広範囲に亘って付着することを防止するため、様々な提案が行われている。

【0003】

例えば、特許文献 1 の使い捨ておむつでは、前胴回り域、股下域および後胴回り域を有する液吸収性第 1 パネルと、液吸収性第 1 パネル上にて前胴回り域および股下域を覆う液

50

吸収性第2パネルとが設けられ、第1パネルと第2パネルとの間に形成された前ポケットに大便を收容することにより、着用者の肌への大便の付着が抑制される。特許文献1の使い捨ておむつでは、第1パネルと第2パネルとの間において幅方向に伸びる弾性部材が設けられており、当該弾性部材の収縮により前ポケットの幅方向の両側の部位を中央へと引っ張って前ポケットの開口を大きくすることにより、前ポケットにおける大便の收容性向上が図られている。

【0004】

特許文献2の展開型紙おむつでは、綿状パルプ等により形成された第1吸収体が、バックシート上において着用者の背側から股下を経て腹側にかけて設けられ、第1吸収体と同じく綿状パルプ等により形成された第2吸収体が、第1吸収体上において着用者の背側から股下にかけて設けられている。特許文献2の展開型紙おむつでは、第2吸収体が、股下から背側に向かって第1吸収体から離間することにより、着用者の背側において第1吸収体と第2吸収体との間に排泄物を保持するポケットが形成され、当該ポケット内に軟便等を收容することにより着用者に対する軟便等の付着が抑制される。

10

【0005】

一方、特許文献3の生理用ナプキンでは、上面シートと裏面シートとの間に設けられる砂時計型の吸収性コアの股領域に長手方向に伸びる成形線（例えば、エンボス加工によるエンボス線）を設け、吸収性コアの股領域を上向きに逆V字状に変形させることにより、着用者の排泄部に対する吸収性コアの股下領域の密着性向上が図られている。

20

【特許文献1】特許第3816012号公報

【特許文献2】特開2005-279004号公報

【特許文献3】特表2002-538849号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

ところで、特許文献1の使い捨ておむつでは、第2パネルが着用者の股間部に密着せず、軟便等の排泄物が前ポケットに收容されることなく第2パネル上に広がって着用者の肌に広範囲に亘って付着してしまうおそれがある。また、特許文献2の紙おむつでは、第2吸収体が着用者の股下から背側に密着せず、軟便等の排泄物がポケットに收容されることなく着用者の臀部中央の凹部等に沿って背側へと広がり、着用者の肌に付着してしまう可能性がある。

30

【0007】

本発明は、上記課題に鑑みなされたものであり、吸収性物品の吸収性シート部材の開口近傍の部位を着用者に密着させることを目的としている。

【課題を解決するための手段】

【0008】

請求項1に記載の発明は、着用者からの排泄物を受ける吸収性物品であって、バックシートと、前記バックシート上に重ねられて前記バックシートに接合され、着用者の股間部に対向する開口を有する吸収性シート部材とを備え、前記吸収性シート部材が、前記着用者の腹側に配置される前部吸収コアと、前記着用者の背側に配置される後部吸収コアと、前記前部吸収コアおよび前記後部吸収コアを被覆するとともに前記前部吸収コアと前記後部吸収コアとの間に前記開口が形成された透液性のコア被覆シートとを備え、前記吸収性シート部材の前記前部吸収コアおよび前記後部吸収コアのうち一方の吸収コアの周囲が、前記開口およびその周辺部を除いて前記バックシートと接合されることにより、前記一方の吸収コアと前記バックシートとの間にポケットが形成され、前記一方の吸収コアが、前記吸収性シート部材の長手方向に垂直な幅方向における中央領域に、前記開口近傍または前記開口に接するコアエッジから前記長手方向におよそ沿って伸びる弱化線群を有し、着用時に前記一方の吸収コアが前記弱化線群にて折れ曲がることにより、前記一方の吸収コアの前記中央領域に前記バックシートから離れる方向に突出する凸部が形成される。

40

【0009】

50

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の吸収性物品であって、前記長手方向において前記前部吸収コアが前記後部吸収コアよりも長く、前記一方の吸収コアが前記前部吸収コアである。

【0010】

請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 に記載の吸収性物品であって、前記一方の吸収コアが前記後部吸収コアである。

【0011】

請求項 4 に記載の発明は、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の吸収性物品であって、前記弱化線群が、前記一方の吸収コアにおいて長手方向に伸びるスリットである弱化線を含む。

【0012】

請求項 5 に記載の発明は、請求項 4 に記載の吸収性物品であって、前記長手方向において、前記弱化線が前記一方の吸収コアの長さの半分よりも長い。

【0013】

請求項 6 に記載の発明は、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の吸収性物品であって、前記弱化線群が、およそ平行な一対の弱化線を含む。

【0014】

請求項 7 に記載の発明は、請求項 6 に記載の吸収性物品であって、前記開口から離れた位置において前記一対の弱化線の間にて前記幅方向におよそ沿って伸びる補助弱化線が前記一方の吸収コアに設けられる。

【0015】

請求項 8 に記載の発明は、請求項 6 または 7 に記載の吸収性物品であって、前記一対の弱化線の間の前記幅方向の距離が、前記開口から離れるに従って漸次減少する。

【0016】

請求項 9 に記載の発明は、請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の吸収性物品であって、前記一方の吸収コアの前記開口近傍または前記開口に接する前記コアエッジが、前記幅方向の中央にて前記長手方向に凹状となる凹状部を有する。

【0017】

請求項 10 に記載の発明は、請求項 1 ないし 9 のいずれかに記載の吸収性物品であって、前記吸収性シート部材が、前記幅方向の両側にて前記長手方向に伸びるとともに前記コア被覆シートに接合される一対の弾性部材をさらに備え、前記一対の弾性部材が、少なくとも前記開口の前記幅方向の外側から前記一方の吸収コアに重なる位置まで設けられ、収縮することにより前記一方の吸収コアを他方の吸収コアに向かって引き寄せ、

【0018】

請求項 11 に記載の発明は、請求項 1 ないし 10 のいずれかに記載の吸収性物品であって、前記バックシートが、撥水性または不透液性の外装シートと、前記外装シートの上に積層された親水性シートとを備える。

【0019】

請求項 12 に記載の発明は、請求項 1 ないし 10 のいずれかに記載の吸収性物品であって、前記バックシートが、撥水性または不透液性の外装シートと、前記外装シートの上に設けられた高吸収性樹脂層とを備える。

【0020】

請求項 13 に記載の発明は、請求項 1 ないし 12 のいずれかに記載の吸収性物品であって、前記吸収性シート部材の前記幅方向の両側において前記長手方向のほぼ全長に亘って設けられた一対の側壁部をさらに備える。

【0021】

請求項 14 に記載の発明は、請求項 1 ないし 13 のいずれかに記載の吸収性物品であって、前記吸収性シート部材の前記前部吸収コアおよび前記後部吸収コアのうち他方の吸収コアの周囲が、前記開口およびその周辺部を除いて前記バックシートと接合されることにより、前記他方の吸収コアと前記バックシートとの間にもう一つのポケットが形成され、

10

20

30

40

50

前記他方の吸収コアが、前記吸収性シート部材の前記幅方向における前記中央領域に、前記開口近傍または前記開口に接するコアエッジから前記長手方向におよそ沿って伸びる弱化線群を有し、着用時に前記他方の吸収コアが前記弱化線群にて折れ曲がることにより、前記他方の吸収コアの前記中央領域に前記バックシートから離れる方向に突出する凸部が形成される。

【0022】

請求項15に記載の発明は、請求項1ないし14のいずれかに記載の吸収性物品であって、着用者が着用する外装物品の内側に取り付けられる補助吸収具である。

【発明の効果】

【0023】

本発明では、吸収性シート部材の開口近傍の部位を着用者に密着させることができる。また、請求項4および5の発明では、弱化線群を容易に形成することができ、請求項5の発明では、さらに、吸収性シート部材の開口近傍の部位を着用者により密着させることができる。

【0024】

請求項6ないし8、並びに、請求項10の発明では、凸部を容易に形成することができる。また、請求項9および10の発明では、排泄物をポケットに確実に収容することができる。

【0025】

請求項11の発明では、排泄物の水分をバックシート上にて迅速に拡散させて後部ポケットへと容易に導くことができる。また、請求項12の発明では、排泄物の水分をバックシート上にて固定することにより着用者への排泄物の付着を抑制することができる。さらに、請求項13の発明では、排泄物が脚周りから漏出することを防止することができる。

【0026】

請求項14の発明では、排泄物の収容力を向上することができるとともに吸収性シート部材の開口近傍の部位の着用者に対する密着性を向上することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0027】

図1は、本発明の第1の実施の形態に係る吸収性物品1を広げた状態にて示す平面図である。吸収性物品1は、着用者が着用する外装物品である使い捨ておむつ等の内側に取り付けられ、着用者からの軟便等の排泄物を受ける補助吸収具である。図1では、着用者に接する面(すなわち、着用者側)を手前側にして吸収性物品1を描いている。

【0028】

図1に示すように、吸収性物品1は、平面視において略矩形状である略シート状の本体部2、および、本体部2の幅方向の両側(すなわち、図1中の左右方向の両側であり、後述する吸収性シート部材20およびバックシート23の幅方向の両側でもある。)において幅方向に垂直な長手方向のほぼ全長に亘って設けられた一对のサイドシート3を備える。

【0029】

本体部2の図1中における上側の部位201および下側の部位203はそれぞれ、着用者の腹側および背側の肌に接する部位であり、以下の説明では、「前方部201」および「後方部203」と呼ぶ。また、前方部201と後方部203との間において前方部201および後方部203から連続するとともに着用者の股間部に対向する部位202を「中間部202」と呼ぶ。

【0030】

図2ないし図4はそれぞれ、吸収性物品1を、図1中に示す後方部203のA-Aの位置、中間部202のB-Bの位置、および、前方部201のC-Cの位置にて、吸収性物品1の長手方向(すなわち、図1中の上下方向)に垂直な面で切断した断面図であり、図5は、吸収性物品1を図1中に示すD-Dの位置にて吸収性物品1の幅方向に垂直な面で切断した断面図である。

10

20

30

40

50

【 0 0 3 1 】

図 2 ないし図 4 に示すように、一对のサイドシート 3 はそれぞれ、本体部 2 に接合される帯状の部位である接合部 3 3、接合部 3 3 の幅方向における内側エッジから少なくとも一部が起立する側壁部 3 4、および、側壁部 3 4 の着用者側の端部に長手方向に接合される（すなわち、長手方向を向いて配置されるとともに接合される）弾性部材 3 2 を備える。吸収性物品 1 では、側壁部 3 4 に設けられた弾性部材 3 2 が収縮することにより、本体部 2 の側方において側壁部 3 4 が着用者側に向かって起立し、着用時に着用者の足の付け根近傍に当接する立体ギャザーが形成される。

【 0 0 3 2 】

接合部 3 3 および側壁部 3 4 としては、疎水性繊維（例えば、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ポリアミド、ナイロン）にて形成された撥水性または不透液性の不織布（例えば、スパンボンド不織布やメルトブロー不織布、SMS 不織布）が利用される。また、弾性部材 3 2 としては、例えば、ポリウレタン系、帯状のポリウレタンフィルム、糸状または帯状の天然ゴム等が用いられる。

10

【 0 0 3 3 】

図 1 ないし図 5 に示すように、本体部 2 は、バックシート 2 3、および、バックシート 2 3 上（すなわち、バックシート 2 3 の着用者側）に重ねられて周縁部においてバックシート 2 3 に接合される吸収性シート部材 2 0 を備える。吸収性シート部材 2 0 の長手方向のおよそ中央には、図 1、図 3 および図 5 に示すように、着用者の股間部に対向する開口 2 5 が形成されており、開口 2 5 の幅は、吸収性物品 1 の幅よりも小さくされる。バックシート 2 3 は、吸収性シート部材 2 0 の開口 2 5 から露出して着用者の股間部に直接対向する中央露出領域 2 3 5 を有する。

20

【 0 0 3 4 】

図 1 および図 5 に示すように、吸収性シート部材 2 0 は、吸収性物品 1 の着用時に着用者の腹側に配置される前部吸収コア 2 1 2、前部吸収コア 2 1 2 と長手方向において離間するとともに着用者の背側に配置される後部吸収コア 2 2 2、並びに、前部吸収コアおよび後部吸収コア 2 2 2 のそれぞれの上表面および下表面（すなわち、前部吸収コアおよび後部吸収コア 2 2 2 のそれぞれを着用者側およびバックシート 2 3 側）を被覆する透液性のコア被覆シート 2 2 を備える。図 1 中では、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 の輪郭を太い破線にて描いている（図 6、図 7、並びに、図 1 1 ないし図 1 3 においても同様）。

30

【 0 0 3 5 】

図 1 に示すように、後部吸収コア 2 2 2 の開口 2 5 近傍のコアエッジ 2 2 2 1、および、開口 2 5 の後部吸収コア 2 2 2 側のエッジは長手方向に関して凹状となっており、前部吸収コア 2 1 2 の開口 2 5 近傍のコアエッジ 2 1 2 1、および、開口 2 5 の前部吸収コア 2 1 2 側のエッジも長手方向に関して凹状となっている。また、後部吸収コア 2 2 2 の開口 2 5 近傍のコアエッジ 2 2 2 1 は、幅方向の中央にて両側の部位よりも長手方向に大きく凹状となる（好ましくは、略 U 字状または略 V 字状となる）凹状部 2 2 2 2 を有する。換言すれば、後部吸収コア 2 2 2 の開口 2 5 近傍のコアエッジ 2 2 2 1 では、幅方向の中央における曲率半径が他の部位の曲率半径よりも小さくされる。なお、後部吸収コア 2 2 2 の開口 2 5 側のコアエッジ 2 2 2 1 と開口 2 5 の後部吸収コア 2 2 2 側のエッジとが一致している場合には、後部吸収コア 2 2 2 の開口 2 5 に接するコアエッジ 2 2 2 1 が凹状部 2 2 2 2 を有することとなる。

40

【 0 0 3 6 】

図 2、図 4 および図 5 に示すように、コア被覆シート 2 2 は、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 のそれぞれの上表面を覆う第 1 被覆シート 2 2 0 1、並びに、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 のそれぞれの下表面を覆う第 2 被覆シート 2 2 0 2 を備える。コア被覆シート 2 2 では、前部吸収コア 2 1 2 と後部吸収コア 2 2 2 との間に上述の開口 2 5 が形成され、コア被覆シート 2 2（すなわち、第 1 被覆シート 2 2 0 1 および第 2 被覆シート 2 2 0 2）の前部吸収コア 2 1 2 を覆う部位と後部吸収コア 2 2 2 を

50

覆う部位とは、図3に示すように、開口25の幅方向の両側にて連続している。

【0037】

吸収性シート部材20は、また、図1ないし図4に示すように、開口25の幅方向の両側にて長手方向に伸びる（すなわち、開口25の幅方向の外側にて前部吸収コア212および後部吸収コア222が並ぶ方向を向いて配置される）一对の弾性部材29を備える。弾性部材29としては、例えば、ポリウレタン系、帯状のポリウレタンフィルム、糸状または帯状の天然ゴム等が用いられ、本実施の形態では、各弾性部材29は2本のポリウレタン系を有する。弾性部材29は、少なくとも開口25の幅方向の外側から後部吸収コア222に重なる位置まで設けられ、本実施の形態では、図1に示すように、後部吸収コア222に重なる位置から前部吸収コア212に重なる位置まで長手方向に伸びている。

10

【0038】

図1および図2に示すように、弾性部材29の後部吸収コア222と重なる部位は、後部吸収コア222のバックシート23側にて後部吸収コア222とコア被覆シート22の第2被覆シート2202との間に配置され、伸張状態にて第2被覆シート2202および後部吸収コア222に接合される。また、図1および図4に示すように、弾性部材29の前部吸収コア212と重なる部位は、弾性部材29の後部吸収コア222と重なる部位と同様に、前部吸収コア212のバックシート23側にて前部吸収コア212と第2被覆シート2202との間に配置され、第2被覆シート2202および前部吸収コア212に伸張状態にて接合される。

【0039】

弾性部材29の前部吸収コア212と後部吸収コア222との間の部位は、図3に示すように、コア被覆シート22の第1被覆シート2201と第2被覆シート2202との間において開口25近傍に配置され、第1被覆シート2201および第2被覆シート2202に伸張状態にて接合される。図1に示す吸収性物品1では、一对の弾性部材29が収縮することにより、前部吸収コア212および後部吸収コア222が互いに他方に向かって引き寄せられることにより、前方部201および後方部203が着用者に沿うように変形する。

20

【0040】

上述のように、前部吸収コア212および後部吸収コア222は長手方向に関して離間しているため、開口25の幅方向の両側の領域（一对の弾性部材29の幅方向の外側の領域を含む。）には、前部吸収コア212および後部吸収コア222は存在しない。

30

【0041】

図1に示すように、本体部2の長手方向の両端部近傍では、後部吸収コア222の幅は本体部2の幅にほぼ等しくされ、前部吸収コア212の幅も本体部2の幅にほぼ等しくされる。また、吸収性シート部材20では、後部吸収コア222の開口25近傍の部位において、後部吸収コア222の幅が開口25および前部吸収コア212に近づくに従って漸次減少し、前部吸収コア212の開口25近傍の部位において、前部吸収コア212の幅が開口25および後部吸収コア222に近づくに従って漸次減少する。開口25近傍では、一对の弾性部材29が、前部吸収コア212および後部吸収コア222の外側に位置する。

40

【0042】

前部吸収コア212および後部吸収コア222はそれぞれ、親水性繊維（例えば、粉碎したパルプ繊維やセルロース繊維）に粒状の吸水性ポリマー（例えば、SAP（Super Absorbent Polymer））を混合したものをティッシュペーパーや透液性不織布等により包み込んで形成され、コア被覆シート22を透過した水分を吸収して迅速に固定する。親水性繊維を包むティッシュペーパーや透液性不織布等は、親水性繊維および吸水性ポリマーとホットメルト接着剤により接合されて、親水性繊維の型崩れ、および、吸水性ポリマーの脱落（特に、吸水後における脱落）を防止する。

【0043】

コア被覆シート22の第1被覆シート2201および第2被覆シート2202は透液性

50

のシート材料、例えば、親水性繊維により形成された不織布であり、着用者からの排泄物の水分を速やかに捕捉して前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 へと移動させる。コア被覆シート 2 2 として利用される不織布は、例えば、ポイントボンド不織布やエアスルー不織布、スパンレース不織布であり、これらの不織布を形成する親水性繊維としては通常、セルロースやレーヨン、コットン等が用いられる。なお、コア被覆シート 2 2 として、表面を界面活性剤により親水処理した疎水性繊維（例えば、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ポリアミド、ナイロン）にて形成された透液性の不織布が利用されてもよい。

【 0 0 4 4 】

バックシート 2 3 は、図 2 ないし図 4 に示すように、本体部 2 の幅方向の両側において着用者側へと折り返され、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 のそれぞれの幅方向の端部を覆いつつ、コア被覆シート 2 2 の着用者側にてコア被覆シート 2 2 の幅方向の端部にホットメルト接着剤等により接合される。また、一对のサイドシート 3 は、バックシート 2 3 の幅方向の両側にホットメルト接着剤等により接合される。

10

【 0 0 4 5 】

吸収性物品 1 では、図 3 に示すように、開口 2 5 の幅方向の両側かつ一对の弾性部材 2 9 の幅方向の外側において、コア被覆シート 2 2 のバックシート 2 3 に直接的に対向する面（すなわち、間に介在物が存在しない状態で対向する面）がバックシート 2 3 と非接合とされる。これにより、開口 2 5 の幅方向の両側において、コア被覆シート 2 2 とバックシート 2 3 との間に一对の側部ポケット 2 8 が形成される。

20

【 0 0 4 6 】

バックシート 2 3 は、図 2 ないし図 5 に示すように、撥水性または不透液性の外装シート 2 3 1、外装シート 2 3 1 上（すなわち、外装シート 2 3 1 の着用者側）に設けられた非常に薄い吸収シート 2 3 3、並びに、外装シート 2 3 1 および吸収シート 2 3 3 上（すなわち、外装シート 2 3 1 および吸収シート 2 3 3 の着用者側）に積層された親水性シート 2 3 2 を備える。

【 0 0 4 7 】

外装シート 2 3 1 としては、疎水性繊維（例えば、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ポリアミド、ナイロン）にて形成された撥水性または不透液性の不織布（例えば、スパンボンド不織布やメルトブロー不織布、SMS 不織布）や、撥水性または不透液性のプラスチックフィルム、あるいは、これらの不織布とプラスチックフィルムとが積層された積層シートが利用され、バックシート 2 3 に到達した排泄物の水分等が、本体部 2 の外側にしみ出すのを防止する。外装シート 2 3 1 にプラスチックフィルムが利用される場合、吸収性物品 1 のムレを防止して着用者の快適性を向上するという観点からは、透湿性（通気性）を有するプラスチックフィルムが利用されることが好ましい。

30

【 0 0 4 8 】

吸収シート 2 3 3 は、2 枚のシート、および、当該 2 枚のシートの間に設けられた高吸収性樹脂層を備え、高吸収性樹脂層は、SAP 等の粒状の吸水性ポリマーをホットメルト接着剤により 2 枚のシートに固定することにより形成される。2 枚のシートとしては、親水性繊維より形成される不織布、親水処理した疎水性繊維より形成される不織布、あるいは、ティッシュ等が利用される。高吸収性樹脂層（すなわち、粒状の吸水性ポリマー）は、上記 2 枚のシートの間で長手方向に伸びるストライプ状に配置される。換言すれば、長手方向に伸びる複数の高吸収性樹脂層のそれぞれの間、吸水性ポリマーが存在しない領域が設けられる。そして、吸水性ポリマーが存在しない領域において 2 枚のシートが接合されることにより、複数の高吸収性樹脂層がそれぞれ封止される。

40

【 0 0 4 9 】

なお、吸収シート 2 3 3 に代えて、SAP 等の粒状の吸水性ポリマーを外装シート 2 3 1 上に散布し、ホットメルト接着剤等により外装シート 2 3 1 に接着することにより、高吸収性樹脂層が外装シート 2 3 1 上に直接形成されてもよい。また、親水性シート 2 3 2 としては、好ましくは、セルロースやレーヨン、コットン等の親水性繊維により形成され

50

た不織布（例えば、スパンレース不織布）、あるいは、表面を界面活性剤により親水処理した疎水性繊維（例えば、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ポリアミド、ナイロン）にて形成された親水性の不織布が利用される。

【0050】

本体部2では、図1に示す吸収性シート部材20の前部吸収コア212の周囲が、開口25およびその周辺部を除いてバックシート23の着用者側の面と接合されることにより、図4および図5に示すように、前部吸収コア212とバックシート23との間（すなわち、吸収性シート部材20の前部吸収コア212に対応する部位とバックシート23との間）に前部ポケット26が形成される。本体部2では、好ましくは、図1に示す前部吸収コア212の周囲のうち開口25から一対の弾性部材29の幅方向の外側までの部位がバックシート23と非接合とされ、本実施の形態では、前部吸収コア212の周囲のうち、開口25近傍のコアエッジ2121を含むとともにコアエッジ2121から本体部2の幅方向の両端部におよそ至る部位が、バックシート23と非接合とされる。

10

【0051】

また、吸収性シート部材20の後部吸収コア222の周囲が、開口25およびその周辺部を除いてバックシート23の着用者側の面と接合されることにより、図2および図5に示すように、後部吸収コア222とバックシート23との間（すなわち、吸収性シート部材20の後部吸収コア222に対応する部位とバックシート23との間）に後部ポケット27が形成される。本体部2では、好ましくは、図1に示す後部吸収コア222の周囲のうち開口25から一対の弾性部材29の幅方向の外側までの部位がバックシート23と非接合とされ、本実施の形態では、後部吸収コア222の周囲のうち、開口25近傍のコアエッジ2221を含むとともにコアエッジ2221から本体部2の幅方向の両端部におよそ至る部位が、バックシート23と非接合とされる。吸収性物品1では、前部ポケット26および後部ポケット27は、一対の側部ポケット28と連続している。

20

【0052】

図1および図2に示すように、後部吸収コア222は、吸収性シート部材20の幅方向における中央領域に、コアエッジ2221から長手方向におよそ沿って伸びる弱化線群241を有し、弱化線群241は、およそ平行な一対の弱化線241aを含む。また、図1および図5に示すように、後部吸収コア222には、開口25から長手方向に離れた位置において一対の弱化線241aの間にて幅方向におよそ沿って伸びる補助弱化線242が設けられる。図1では、弱化線241aおよび補助弱化線242の輪郭を破線にて示している（図6、図7、並びに、図11ないし図13においても同様）。弱化線241aおよび補助弱化線242は、例えば、エンボス加工や切り込み加工、あるいは、後部吸収コア222を形成する親水性繊維の量を部分的に減らして後部吸収コア222の厚さを薄くすることにより形成され、後部吸収コア222において、その周囲の部位よりも剛性が低くされる。

30

【0053】

吸収性シート部材20では、吸収性物品1の着用時に、図1、図2および図5に示すように、後部吸収コア222が弱化線群241および補助弱化線242にて折れ曲がることにより、後部吸収コア222の幅方向の中央領域にバックシート23から離れる方向（すなわち、着用者側）に突出する凸部240が形成される。

40

【0054】

吸収性物品1では、着用者から排泄された軟便等の排泄物が、開口25を介してバックシート23へと向かい、バックシート23の中央露出領域235にて受けられる。中央露出領域235にて受けられた排泄物は、後部ポケット27、側部ポケット28および前部ポケット26の内部空間へと移動して収容される。

【0055】

吸収性物品1では、上述のように、後部吸収コア222の幅方向の中央領域に、着用者に向けて突出する凸部240が開口25から長手方向に沿って設けられており、当該凸部240が着用者の臀部の凹部に密着する。これにより、吸収性物品1の幅方向の中央にお

50

いて、吸収性シート部材 20 の後部吸収コア 222 の開口 25 近傍の部位を着用者に密着させることができ、排泄物が着用者の臀部の凹部等に沿って背側へと広がることを防止される。その結果、排泄物を後部ポケット 27、側部ポケット 28 および前部ポケット 26 に確実に収容して保持することができ、排泄物が広がって着用者の肌に広範囲に亘って付着することが防止される。

【0056】

また、凸部 240 は、吸収性物品 1 の着用時に後部吸収コア 222 が弱化線群 241 および補助弱化線 242 にて折れ曲がることにより形成され、着用前の状態の吸収性物品 1 においては凸部 240 は形成されていないため、着用前の吸収性物品 1 が嵩高になることが防止される。

10

【0057】

このように、吸収性物品 1 は、後部吸収コア 222 の開口 25 近傍の部位が着用者に密着して排泄物を確実に収容することができるため、使い捨ておむつ等の外装物品の内側にて着用者の肌の比較的狭い範囲を覆うとともに容易に交換可能な補助吸収具に特に適している。

【0058】

吸収性シート部材 20 では、弱化線群 241 がおよそ平行な一对の弱化線 241a を含むことにより、後部吸収コア 222 の一对の弱化線 241a の間の部位を着用者側へと容易に突出させることができ、凸部 240 を容易に形成することができる。また、一对の弱化線 241a の間に補助弱化線 242 が設けられることにより、凸部 240 の形成をより容易とすることができる。

20

【0059】

後部吸収コア 222 では、コアエッジ 2221 が幅方向の中央に凹状部 2222 を有することにより、開口 25 が背側において長手方向に拡大されるため、排泄物を後部ポケット 27、側部ポケット 28 および前部ポケット 26 にさらに確実に収容することができる。

【0060】

上述のように、吸収性物品 1 では、開口 25 の両側において伸張状態にてコア被覆シート 22 に接合される一对の弾性部材 29 が設けられており、弾性部材 29 が長手方向に収縮することにより、図 3 に示すように、一对の側部ポケット 28 のそれぞれにおいて、吸収性シート部材 20 のコア被覆シート 22 がバックシート 23 と共に着用者側へと大きく立ち上がる。また、弾性部材 29 の収縮により、図 2 および図 5 に示すように、後部吸収コア 222 がバックシート 23 から離れるように（すなわち、後部ポケット 27 における後部吸収コア 222 とバックシート 23 との厚さ方向の距離が大きくなるように）着用者側へと持ち上げられる。

30

【0061】

これにより、開口 25 近傍における吸収性シート部材 20 とバックシート 23 との間の厚さ方向の距離を大きく維持することができるとともに吸収性シート部材 20 の開口 25 近傍の部位を着用者により密着させることもできる。その結果、排泄物を後部ポケット 27 および側部ポケット 28 により確実に収容することができる。さらに、弾性部材 29 の収縮により後部吸収コア 222 が着用者側に凸となるように撓むことにより、凸部 240 の形成がより容易とされる。

40

【0062】

また、後部吸収コア 222 から前部吸収コア 212 に亘って設けられる一对の弾性部材 29 が収縮することにより、図 4 および図 5 に示すように、前部吸収コア 212 がバックシート 23 から離れるように（すなわち、前部ポケット 26 における前部吸収コア 212 とバックシート 23 との厚さ方向の距離が大きくなるように）着用者側へと持ち上げられる。これにより、開口 25 近傍における吸収性シート部材 20 とバックシート 23 との間の厚さ方向の距離をより大きくすることができるとともに吸収性シート部材 20 の開口 25 近傍の部位を着用者にさらに密着させることもできる。その結果、排泄物を前部ポケッ

50

ト 2 6 により確実に収容することができる。

【 0 0 6 3 】

吸収性物品 1 では、一对の弾性部材 2 9 が開口 2 5 の幅方向における近傍に配置されることにより、一对の側部ポケット 2 8 のそれぞれにおいて、吸収性シート部材 2 0 のコア被覆シート 2 2 がバックシート 2 3 と共に着用者側へとより大きく立ち上がる。これにより、開口 2 5 近傍における吸収性シート部材 2 0 とバックシート 2 3 との間の厚さ方向の距離をより大きくすることができるとともに吸収性シート部材 2 0 の開口 2 5 近傍の部位を着用者により一層密着させることもできる。

【 0 0 6 4 】

吸収性物品 1 のバックシート 2 3 では、撥水性または不透液性の外装シート 2 3 1 の着用者側に親水性シート 2 3 2 が積層されることにより、バックシート 2 3 の中央露出領域 2 3 5 にて受けた排泄物の水分をバックシート 2 3 上にて長手方向に迅速に拡散させ、後部ポケット 2 7 および前部ポケット 2 6 の内部空間へと容易に導くことができる。また、外装シート 2 3 1 の着用者側に吸収シート 2 3 3 (の高吸収性樹脂層) が設けられることにより、排泄物の水分をバックシート 2 3 上にて固定することができるため、着用者の肌への排泄物の付着がさらに抑制される。

【 0 0 6 5 】

吸収性物品 1 では、本体部 2 の幅方向の両側に一对の側壁部 3 4 が形成されることにより、後部ポケット 2 7、側部ポケット 2 8 および前部ポケット 2 6 に収容されなかった排泄物が、着用者の脚周りから漏出することを防止することができる。

【 0 0 6 6 】

次に、本発明の第 2 の実施の形態に係る吸収性物品について説明する。図 6 は、第 2 の実施の形態に係る吸収性物品 1 a を広げた状態で示す平面図である。図 6 に示すように、吸収性物品 1 a では、後部吸収コア 2 2 2 に図 1 に示す弱化線 2 4 1 a とは形状が異なるおおよそ平行な一对の弱化線 2 4 1 b が、後部吸収コア 2 2 2 のコアエッジ 2 2 2 1 から長手方向におおよそ沿って伸びる弱化線群 2 4 1 として設けられる。図 6 に示す一对の弱化線 2 4 1 b の間の幅方向の距離は、開口 2 5 から長手方向に離れるに従って漸次減少する。後部吸収コア 2 2 2 では、また、図 1 に示す補助弱化線 2 4 2 とは形状が異なる補助弱化線 2 4 2 a により、一对の弱化線 2 4 1 a の開口 2 5 とは反対側の端部が接続される。その他の構成は、図 1 ないし図 5 に示す吸収性物品 1 と同様であり、以下の説明において対応する構成に同符号を付す。

【 0 0 6 7 】

吸収性物品 1 a では、第 1 の実施の形態と同様に、着用時に後部吸収コア 2 2 2 が弱化線群 2 4 1 (すなわち、一对の弱化線 2 4 1 b) および補助弱化線 2 4 2 a にて折れ曲がることにより、後部吸収コア 2 2 2 の幅方向の中央領域にバックシート 2 3 から離れる方向 (すなわち、着用者側) に突出する凸部 2 4 0 a が形成される。そして、凸部 2 4 0 a が着用者の臀部の凹部に密着することにより、吸収性物品 1 a の幅方向の中央において、吸収性シート部材 2 0 の後部吸収コア 2 2 2 の開口 2 5 近傍の部位を着用者に密着させることができ、排泄物が着用者の臀部の凹部等に沿って背側へと広がることが防止される。その結果、排泄物を後部ポケット 2 7、側部ポケット 2 8 および前部ポケット 2 6 に確実に収容して保持することができ、排泄物が広がって着用者の肌に広範囲に亘って付着することが防止される。

【 0 0 6 8 】

また、凸部 2 4 0 a は、吸収性物品 1 a の着用時に後部吸収コア 2 2 2 が弱化線群 2 4 1 および補助弱化線 2 4 2 a にて折れ曲がることにより形成され、着用前の状態の吸収性物品 1 a においては凸部 2 4 0 a は形成されていないため、着用前の吸収性物品 1 a が高くなることが防止される。

【 0 0 6 9 】

次に、本発明の第 3 の実施の形態に係る吸収性物品について説明する。図 7 は、第 3 の実施の形態に係る吸収性物品 1 b を広げた状態で示す平面図である。図 7 に示すように、

吸収性物品 1 b は、図 1 に示す吸収性物品 1 の吸収性シート部材 2 0 およびサイドシート 3 とは形状が異なる吸収性シート部材 2 0 a およびサイドシート 3 a を備える。その他の構成は、図 1 ないし図 5 に示す吸収性物品 1 と同様であり、以下の説明において対応する構成に同符号を付す。

【 0 0 7 0 】

図 8 および図 9 はそれぞれ、吸収性物品 1 b を、図 7 中に示す前方部 2 0 1 の E - E の位置、および、中間部 2 0 2 の F - F の位置にて、吸収性物品 1 b の長手方向に垂直な面で切断した断面図であり、図 1 0 は、吸収性物品 1 b を図 1 中に示す G - G の位置にて吸収性物品 1 b の幅方向に垂直な面で切断した断面図である。なお、吸収性物品 1 b では、後方部 2 0 3 の構造は前方部 2 0 1 の構造とほぼ同様であり、後方部 2 0 3 の長手方向に垂直な断面図は図 8 と同様である。

10

【 0 0 7 1 】

図 7 に示すように、吸収性シート部材 2 0 a では、長手方向の中央よりも後側（すなわち、図 7 中の下側）に開口 2 5 が形成されており、開口 2 5 の幅は、吸収性物品 1 b の幅よりも小さくされる。吸収性シート部材 2 0 a では、長手方向において前部吸収コア 2 1 2 が後部吸収コア 2 2 2 よりも長く、本実施の形態では、前部吸収コア 2 1 2 の長さは後部吸収コア 2 2 2 の長さのおよそ 2 倍以上となっている。

【 0 0 7 2 】

前部吸収コア 2 1 2 の開口 2 5 側のコアエッジ 2 1 2 1、および、開口 2 5 の前部吸収コア 2 1 2 側の前部エッジ 2 5 2 は長手方向に関して凹状となっており、後部吸収コア 2 2 2 の開口 2 5 側のコアエッジ 2 2 2 1、および、開口 2 5 の後部吸収コア 2 2 2 側の後部エッジ 2 5 3 も長手方向に関して凹状となっている。

20

【 0 0 7 3 】

図 7 および図 8 に示すように、前部吸収コア 2 1 2 は、吸収性シート部材 2 0 a の幅方向における中央領域に、開口 2 5 近傍に位置するコアエッジ 2 1 2 1（図 7 のみに図示）から長手方向におよそ沿って伸びる弱化線群 2 4 3 を有し、本実施の形態では、弱化線群 2 4 3 は、前部吸収コア 2 1 2 においてコアエッジ 2 1 2 1 から長手方向に伸びるスリットである 1 つの弱化線 2 4 3 a により構成される。また、図 7 に示すように、後部吸収コア 2 2 2 も、前部吸収コア 2 1 2 と同様に、吸収性シート部材 2 0 a の幅方向における中央領域に、開口 2 5 近傍に位置するコアエッジ 2 2 2 1 から長手方向におよそ沿って伸びる弱化線群 2 4 4 を有し、本実施の形態では、弱化線群 2 4 4 は、後部吸収コア 2 2 2 においてコアエッジ 2 2 2 1 から長手方向に伸びるスリットである 1 つの弱化線 2 4 4 a により構成される。弱化線 2 4 3 a および弱化線 2 4 4 a はそれぞれ、長手方向において前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 の長さの半分よりも長い。

30

【 0 0 7 4 】

なお、平面視において前部吸収コア 2 1 2 のコアエッジ 2 1 2 1 と開口 2 5 の前部エッジ 2 5 2 とが一致している場合には、弱化線群 2 4 3 は、前部吸収コア 2 1 2 の開口 2 5 に接するコアエッジ 2 1 2 1 から長手方向におよそ沿って伸び、平面視において後部吸収コア 2 2 2 のコアエッジ 2 2 2 1 と開口 2 5 の後部エッジ 2 5 3 とが一致している場合には、弱化線群 2 4 4 は、後部吸収コア 2 2 2 の開口 2 5 に接するコアエッジ 2 2 2 1 から長手方向におよそ沿って伸びることとなる。

40

【 0 0 7 5 】

図 7 ないし図 9 に示す一対のサイドシート 3 a はそれぞれ、1 枚のシート部材を 2 つ折りにして 2 層構造とした帯状部材の当該 2 層の間に、長手方向に伸びる弾性部材を伸張状態にて接合することにより形成される。各サイドシート 3 a は、コア被覆シート 2 2 およびバックシート 2 3 に接合される帯状の部位である接合部 3 3、接合部 3 3 の幅方向における内側エッジ 3 3 1 から少なくとも一部が起立する側壁部 3 4、側壁部 3 4 の着用者側の端部に長手方向に接合される（すなわち、長手方向を向いて配置されるとともに接合される）弾性部材 3 2、および、接合部 3 3 の内側エッジ 3 3 1 に長手方向に接合される弾性部材 3 5 を備える。

50

【 0 0 7 6 】

以下の説明では、図 7 ないし図 9 に示す吸収性シート部材 2 0 a に設けられる弾性部材 2 9、および、これらの弾性部材 3 2、3 5 を区別するために、それぞれ「第 1 弾性部材 2 9」、「第 2 弾性部材 3 2」および「第 3 弾性部材 3 5」という。第 2 弾性部材 3 2 および第 3 弾性部材 3 5 としては、例えば、ポリウレタン系、帯状のポリウレタンフィルム、糸状または帯状の天然ゴム等が用いられる。本実施の形態では、第 2 弾性部材 3 2 は 2 本のポリウレタン系を有し、第 3 弾性部材 3 5 は 1 本のポリウレタン系を有する。

【 0 0 7 7 】

図 8 および図 9 に示すように、コア被覆シート 2 2 の着用者側に接合された接合部 3 3 は、コア被覆シート 2 2 の幅方向の外側において、バックシート 2 3 の吸収性シート部材 2 0 a の側端部を覆う部位を覆い、さらに、バックシート 2 3 の着用者とは反対側の側端部まで設けられてバックシート 2 3 にもホットメルト接着剤等により接合される。このように、本体部 2 の側部が撥水性または不透液性のサイドシート 3 a により覆われることにより、万一、本体部 2 の側部において吸収性シート部材 2 0 a とバックシート 2 3 との接合不良が存在しても、前部ポケット 2 6、側部ポケット 2 8 および後部ポケット 2 7 の内部空間に收容された排泄物が、接合不良箇所から外部にしみ出すことを確実に防止することができる。また、上述のように、サイドシート 3 a が 2 層構造とされるため、排泄物の外部へのしみ出しをより確実に防止することができる。

【 0 0 7 8 】

図 7 および図 9 に示すように、接合部 3 3 の内側エッジ 3 3 1 (すなわち、接合部 3 3 と側壁部 3 4 との境界)は、吸収性シート部材 2 0 a の開口 2 5 の側方エッジ 2 5 1 よりも幅方向の内側に位置し、開口 2 5 の側方エッジ 2 5 1 近傍の部位は接合部 3 3 により覆われる。これにより、接合部 3 3 の内側エッジ 3 3 1 に接合される第 3 弾性部材 3 5 は、開口 2 5 を跨いで長手方向に接合されることとなる。

【 0 0 7 9 】

図 1 1 は、図 7 と同様に、吸収性物品 1 b を広げた状態にて示す平面図であり、図 1 1 では、各サイドシート 3 a の接合部 3 3 のうち、ホットメルト接着剤等を介して吸収性シート部材 2 0 a に実際に接合される部位に平行斜線を付す。図 1 1 に示すように、接合部 3 3 のコア被覆シート 2 2 上に直接接合される部位のうち、開口 2 5 の前部エッジ 2 5 2 から前方に(すなわち、長手方向において開口 2 5 から離れる方向に)所定の距離(例えば、約 2 c m)内の部位、および、開口 2 5 の後部エッジ 2 5 3 から後方に所定の距離(例えば、約 2 c m)内の部位は、吸収性シート部材 2 0 a のコア被覆シート 2 2 と非接合とされる。換言すれば、各サイドシート 3 a の接合部 3 3 は、前部吸収コア 2 1 2 上の開口 2 5 の前部エッジ 2 5 2 近傍においてコア被覆シート 2 2 と非接合とされ、後部吸収コア 2 2 2 上の開口 2 5 の近傍においてコア被覆シート 2 2 と非接合とされる。

【 0 0 8 0 】

各サイドシート 3 a は、図 8 および図 9 に示すように、接合部 3 3 の内側エッジ 3 3 1 から着用者側かつ幅方向の外側へと折り返されており、折り返された部位である側壁部 3 4 の長手方向の両端部は、接合部 3 3 上にホットメルト接着剤等により固定される。吸収性物品 1 b では、側壁部 3 4 に伸張状態にて接合された第 2 弾性部材 3 2 が収縮することにより、側壁部 3 4 の長手方向の両端部(すなわち、接合部 3 3 上に固定された部位)の間の部位が、接合部 3 3 の内側エッジ 3 3 1 から着用者側かつ幅方向の外側に向かって起立し、吸収性物品 1 b の着用時に着用者の足の付け根近傍に当接する立体ギャザーが形成される。

【 0 0 8 1 】

吸収性シート部材 2 0 a では、上述のように、前部吸収コア 2 1 2 の幅方向における中央領域にコアエッジ 2 1 2 1 から長手方向におよそ沿って伸びる弱化線群 2 4 3 が形成され、後部吸収コア 2 2 2 の幅方向における中央領域にコアエッジ 2 2 2 1 から長手方向におよそ沿って伸びる弱化線群 2 4 4 が形成される。そして、前部吸収コア 2 1 2 は、吸収性物品 1 b の着用時に弱化線群 2 4 3 にて折れ曲がり、これにより、図 8 に示すように、

前部吸収コア 2 1 2 の中央領域にバックシート 2 3 から離れる方向に突出する凸部 2 4 0 b が形成される。また、後部吸収コア 2 2 2 も、吸収性物品 1 b の着用時に弱化線群 2 4 4 にて折れ曲がり、これにより、後部吸収コア 2 2 2 の中央領域にバックシート 2 3 から離れる方向に突出する凸部が形成される。

【 0 0 8 2 】

その結果、吸収性シート部材 2 0 の開口 2 5 近傍の部位を着用者に密着させ、排泄物を前部ポケット 2 6、側部ポケット 2 8 および後部ポケット 2 7 に確実に収容して保持することができ、排泄物が広がって着用者の肌に広範囲に亘って付着することが防止される。このように、吸収性物品 1 b は、排泄物が広い範囲に広がってしまうことを防止することができるため、上述の吸収性物品 1, 1 a と同様に、使い捨ておむつ等の外装物品の内側に着用者の肌の比較的狭い範囲を覆うとともに容易に交換可能な補助吸収具に特に適している。

10

【 0 0 8 3 】

吸収性シート部材 2 0 a では、弱化線群 2 4 3 が、長手方向に伸びるスリットである弱化線 2 4 3 a とされることにより、弱化線群 2 4 3 を容易に形成することができる。また、弱化線群 2 4 4 が、長手方向に伸びるスリットである弱化線 2 4 4 a とされることにより、弱化線群 2 4 4 を容易に形成することができる。なお、吸収性物品 1 b では、弱化線群 2 4 3, 2 4 4 はそれぞれ、1本の弱化線 2 4 3 a, 2 4 4 a のみとされるが、上記弱化線群はそれぞれ、長手方向に伸びるスリットである弱化線を含んでいれば、複数の弱化線とされてもよい。これにより、弱化線群を容易に形成することができる。

20

【 0 0 8 4 】

上述のように、吸収性シート部材 2 0 a では、弱化線 2 4 3 a が長手方向において前部吸収コア 2 1 2 の長さの半分よりも長くされることにより、前部吸収コア 2 1 2 の中央領域に凸部 2 4 0 b がより容易に形成される。また、弱化線 2 4 4 a が長手方向において後部吸収コア 2 2 2 の長さの半分よりも長くされることにより、後部吸収コア 2 2 2 の中央領域に凸部がより容易に形成される。その結果、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 の開口近傍の部位（すなわち、吸収性シート部材 2 0 a の開口 2 5 近傍の部位）を着用者にさらに密着させることができる。

【 0 0 8 5 】

吸収性シート部材 2 0 a では、開口 2 5 の両側（すなわち、幅方向の外側）において伸張状態にてコア被覆シート 2 2 に接合される一对の第 1 弾性部材 2 9 が設けられており、第 1 弾性部材 2 9 が長手方向に収縮することにより、図 9 に示すように、一对の側部ポケット 2 8 のそれぞれにおいて、吸収性シート部材 2 0 のコア被覆シート 2 2 がバックシート 2 3 と共に着用者側へと大きく立ち上がる。これにより、側部ポケット 2 8 の高さを大きくすることができる。

30

【 0 0 8 6 】

また、第 1 弾性部材 2 9 の収縮により、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 が互いに他方に向かって引き寄せられ、図 8 および図 10 に示すように、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 がバックシート 2 3 から離れるように着用者側へと持ち上げられる。これにより、開口 2 5 近傍における吸収性シート部材 2 0 a とバックシート 2 3 との間の厚さ方向の距離を大きくできるとともに吸収性シート部材 2 0 a の開口 2 5 近傍の部位を着用者により密着させることもできる。その結果、排泄物を前部ポケット 2 6、側部ポケット 2 8 および後部ポケット 2 7 により確実に収容して保持することができ、排泄物が広がって着用者の肌に広範囲に亘って付着することが防止される。

40

【 0 0 8 7 】

吸収性物品 1 b では、着用者側に向かって起立する一对の側壁部 3 4 が設けられることにより、開口 2 5 を介して前部ポケット 2 6、側部ポケット 2 8 および後部ポケット 2 7 に収容されずに開口 2 5 の周囲に排出される尿等の排泄物が、吸収性物品 1 b の側方から外部に漏出すること（いわゆる、横漏れ）を防止することができる。また、各側壁部 3 4 が、接合部 3 3 の内側エッジ 3 3 1 から幅方向の外側に向かって起立することにより、側

50

壁部 3 4 の形状安定性が向上して側壁部 3 4 が着用者の肌に密着しやすくなるため、排泄物の横漏れをより確実に防止することができる。

【 0 0 8 8 】

上述の吸収性物品 1 b では、一对のサイドシート 3 a のそれぞれにおいて、接合部 3 3 の内側エッジ 3 3 1 に開口 2 5 を跨いで伸張状態にて接合された第 3 弾性部材 3 5 が収縮することにより、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 が互いに他方に向かって引き寄せられる。このため、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 がバックシート 2 3 から離れるように（すなわち、前部ポケット 2 6 における前部吸収コア 2 1 2 とバックシート 2 3 との厚さ方向の距離、および、後部ポケット 2 7 における後部吸収コア 2 2 2 とバックシート 2 3 との厚さ方向の距離が大きくなるように）着用者側へと持ち上げられる。

10

【 0 0 8 9 】

これにより、開口 2 5 近傍における吸収性シート部材 2 0 a とバックシート 2 3 との間の厚さ方向の距離を大きく維持することができるとともに吸収性シート部材 2 0 a の開口 2 5 近傍の部位を着用者に密着させることもできる。その結果、排泄物を前部ポケット 2 6、側部ポケット 2 8 および後部ポケット 2 7 に確実に収容して保持することができ、排泄物が広がって着用者の肌に広範囲に亘って付着することが防止される。

【 0 0 9 0 】

上述のように、吸収性物品 1 b では、各サイドシート 3 a の接合部 3 3 が、前部吸収コア 2 1 2 上の開口 2 5 の前部エッジ 2 5 2 近傍においてコア被覆シート 2 2 と非接合とされ、後部吸収コア 2 2 2 上の開口 2 5 の後部エッジ 2 5 3 近傍においてコア被覆シート 2 2 と非接合とされる。これにより、開口 2 5 近傍において前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 がサイドシート 3 a から独立して変形可能とされ、第 3 弾性部材 3 5 および第 1 弾性部材 2 9 の収縮により前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 がバックシート 2 3 から離れる方向に凸状に変形しやすくなる。その結果、開口 2 5 近傍における吸収性シート部材 2 0 a とバックシート 2 3 との間の厚さ方向の距離をさらに大きくすることができるとともに吸収性シート部材 2 0 a の開口 2 5 近傍の部位を着用者にさらに密着させることもできる。

20

【 0 0 9 1 】

吸収性物品 1 b では、各サイドシート 3 a の第 3 弾性部材 3 5 は、接合部 3 3 と側壁部 3 4 との境界である接合部 3 3 の内側エッジ 3 3 1 上に接合されるが、第 3 弾性部材 3 5 は、接合部 3 3 の開口 2 5 の側方エッジ 2 5 1 よりも幅方向の内側、または、側壁部 3 4 の接合部 3 3 近傍（すなわち、内側エッジ 3 3 1 近傍）に接合されていればよい。このように接合された第 3 弾性部材 3 5 が収縮することにより、上記と同様に、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 が互いに他方に向かって引き寄せられ、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 がバックシート 2 3 から離れるように着用者側へと持ち上げられる。その結果、開口 2 5 近傍における吸収性シート部材 2 0 a とバックシート 2 3 との間の厚さ方向の距離をより大きくすることができるとともに吸収性シート部材 2 0 a の開口 2 5 近傍の部位を着用者に密着させることもできる。

30

【 0 0 9 2 】

吸収性物品 1 b では、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 をバックシート 2 3 からより大きく離れるように着用者側へと持ち上げるためには、第 3 弾性部材 3 5 が、接合部 3 3 または側壁部 3 4 において、接合部 3 3 の内側エッジ 3 3 1 近傍に接合されることが好ましい。このように、前部吸収コア 2 1 2 および後部吸収コア 2 2 2 のバックシート 2 3 に固定されている部位（すなわち、両吸収コアの側方エッジ）から幅方向に離れた位置にて両吸収コアを長手方向に互いに引き寄せることにより、開口 2 5 近傍における吸収性シート部材 2 0 a とバックシート 2 3 との間の厚さ方向の距離をより大きくし、吸収性シート部材 2 0 a の開口 2 5 近傍の部位を着用者により密着させることができる。

40

【 0 0 9 3 】

以上、本発明の実施の形態について説明してきたが、本発明は上記実施の形態に限定さ

50

れるものではなく、様々な変更が可能である。

【0094】

第1の実施の形態に係る吸収性物品1では、後部吸収コア222に設けられる弱化線の形状は、必ずしも上記実施の形態にて示す形状には限定されず、例えば、図12に示す吸収性物品1cのように、一对の弱化線241cが弱化線群241として後部吸収コア222に設けられてもよい。吸収性物品1cでは、およそ平行な一对の弱化線241cの間の幅方向の距離が、開口25から離れるに従って漸次減少しており、一对の弱化線241cの開口25とは反対側の端部は接続されている。吸収性物品1cの着用時には、後部吸収コア222の一对の弱化線241cおよびコアエッジ2221に囲まれる部位が着用者側に突出する凸部240cとなる。また、図13に示す吸収性物品1dのように、幅方向の中央にて長手方向に伸びる1本の弱化線241dが弱化線群241として後部吸収コア222に設けられてもよい。吸収性物品1dの着用時には、後部吸収コア222の弱化線241d近傍の部位が着用者側に突出する凸部240dとなる。

10

【0095】

第1の実施の形態に係る吸収性物品1では、弱化線群241が後部吸収コア222に設けられ、前部吸収コア212には弱化線群は設けられていないが、弱化線群は、前部吸収コア212のみに設けられてもよい。この場合、吸収性物品1の着用時に、前部吸収コア212の幅方向の中央領域に凸部が形成され、吸収性シート部材20の前部吸収コア212の開口25近傍の部位が着用者に密着する。また、吸収性物品1では、前部吸収コア212の開口25近傍または開口25に接するコアエッジ2121に、幅方向の中央にて両側の部位よりも長手方向に大きく凹状となる（好ましくは、略U字状または略V字状となる）凹状部が設けられてもよい。

20

【0096】

吸収性物品では、排泄物が収容されるポケットの容積を大きくして排泄物が着用者の肌に広範囲に亘って付着することをより確実に防止するためには、吸収性シート部材とバックシート23との間に前部ポケット26および後部ポケット27の双方が設けられることが好ましい。また、前部ポケット26および後部ポケット27を形成する前部吸収コア212および後部吸収コア222の双方に、幅方向の中央領域においてコアエッジから長手方向におよそ沿って伸びる弱化線群が設けられることが好ましく、これにより、吸収性シート部材の開口25近傍の部位を着用者により密着させることが可能とされる。

30

【0097】

ただし、前部吸収コア212および後部吸収コア222のうち一方の吸収コアとバックシート23との間にポケットが形成され、他方の吸収コアとバックシート23の間にはポケットが形成されない場合（この場合、吸収性シート部材の上記他方の吸収コアに対応する部位が、およそ全面に亘ってバックシート23に接合される。）であっても、当該一方の吸収コアの幅方向の中央領域に上述の弱化線群が設けられ、吸収性物品の着用時に一方の吸収コアが弱化線群にて折れ曲がってバックシートから離れる方向に突出する凸部が形成されることにより、吸収性シート部材の開口25近傍の部位を着用者により密着させることができる。その結果、排泄物が着用者の肌に広範囲に亘って付着することが防止される。

40

【0098】

このように、一方の吸収コアとバックシート23との間にポケットが形成され、他方の吸収コアとバックシート23の間にはポケットが形成されない場合、前部吸収コア212が上記一方の吸収コアとされて前部ポケット26が形成されることにより、ベッド等で仰向けに寝ている状態の着用者からの排泄物を、前部ポケット26に確実に収容することができ、排泄物が着用者の肌に広範囲に亘って付着することを防止することができる。さらに、長手方向において前部吸収コア212が後部吸収コア222よりも長くされることにより、前部ポケット26の容積を増大させ、ベッド等で仰向けに寝ている状態の着用者からの排泄物をより確実に収容することができる。また、後部吸収コア222が上記一方の吸収コアとされて後部ポケット27が形成される場合には、着用者の背側に向かう排泄

50

物を後部ポケット 27 に確実に収容することができる。

【0099】

(第1)弾性部材 29 は、開口 25 近傍における吸収性シート部材とバックシート 23 との間の厚さ方向の距離を大きくし、吸収性シート部材の開口 25 近傍の部位を着用者に密着させるという観点からは、前部吸収コア 212 に重なる位置から後部吸収コア 222 に重なる位置まで設けられることが好ましいが、必ずしも、前部吸収コア 212 に重なる位置から後部吸収コア 222 に重なる位置まで設けられる必要はない。例えば、吸収性物品において前部ポケット 26 および後部ポケット 27 が設けられる場合、(第1)弾性部材 29 は、少なくとも開口 25 の側方エッジ 251 (図7ないし図9参照)よりも幅方向の外側の位置から前部吸収コア 212 および後部吸収コア 222 のうち一方の吸収コアに重なる位置まで設けられていればよい。また、前部吸収コア 212 および後部吸収コア 222 のうち一方の吸収コアとバックシート 23 との間にポケットが形成され、他方の吸収コアとバックシート 23 との間にはポケットが形成されない場合、(第1)弾性部材 29 は、開口 25 の側方エッジ 251 よりも幅方向の外側の位置から当該一方の吸収コアに重なる位置まで設けられる。(第1)弾性部材 29 は、コア被覆シート 22 に接合されていればよく、例えば、前部吸収コア 212 および後部吸収コア 222 の上側(着用者側)にて両吸収コアとコア被覆シート 22 の第1被覆シート 2201 との間に接合されてもよい。

10

【0100】

吸収性シート部材では、コア被覆シート 22 は1枚のシート部材とされてもよく、この場合、当該シート部材の前部吸収コア 212 および後部吸収コア 222 の着用者を覆う部位が第1被覆シート 2201 に相当し、前部吸収コア 212 および後部吸収コア 222 のバックシート 23 側を覆う部位が第2被覆シート 2202 に相当する。また、コア被覆シート 22 は、少なくとも前部吸収コア 212 および後部吸収コア 222 の着用者を覆ってあればよい。

20

【0101】

バックシート 23 は、少なくとも撥水性または不透液性の外装シート 231 を備えていればよく、親水性シート 232 および吸収シート 233 のいずれか一方または両方が省略されてもよい。

【0102】

上述の吸収性物品の構造は、外装物品の内側に取り付けられる補助吸収具以外にも、例えば、上端に胸部開口を有し、下部に一对の脚部開口を有するパンツタイプの使い捨ておむつや、着用者の腹側に当接する部位と背側に当接する部位とを腰回りで止着して着用するオープンタイプの使い捨ておむつに適用されてよい。

30

【図面の簡単な説明】

【0103】

【図1】本発明の第1実施の形態に係る吸収性物品の平面図である。

【図2】吸収性物品の断面図である。

【図3】吸収性物品の断面図である。

【図4】吸収性物品の断面図である。

40

【図5】吸収性物品の断面図である。

【図6】本発明の第2実施の形態に係る吸収性物品の平面図である。

【図7】本発明の第3実施の形態に係る吸収性物品の平面図である。

【図8】吸収性物品の断面図である。

【図9】吸収性物品の断面図である。

【図10】吸収性物品の断面図である。

【図11】吸収性物品の平面図である。

【図12】吸収性物品の他の例を示す平面図である。

【図13】吸収性物品の他の例を示す平面図である。

【符号の説明】

50

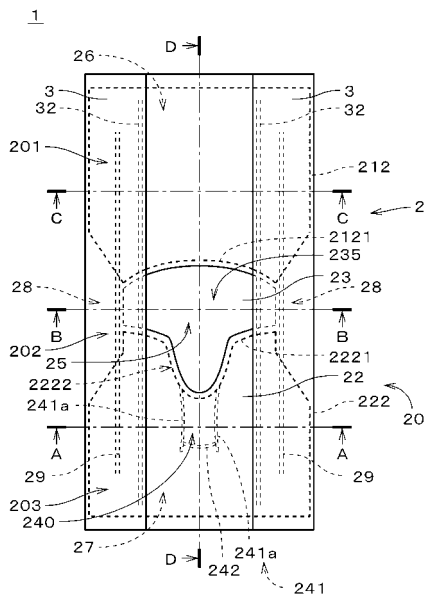
【 0 1 0 4 】

- 1, 1 a ~ 1 d 吸収性物品
- 20, 20 a 吸収性シート部材
- 22 コア被覆シート
- 23 バックシート
- 25 開口
- 26 前部ポケット
- 27 後部ポケット
- 29 (第1)弾性部材
- 34 側壁部
- 212 前部吸収コア
- 222 後部吸収コア
- 231 外装シート
- 232 親水性シート
- 233 吸収シート
- 240, 240 a ~ 240 d 凸部
- 241, 243, 244 弱化線群
- 241 a ~ 241 d, 243 a, 244 a 弱化線
- 242, 242 a 補助弱化線
- 2121, 2221 コアエッジ
- 2222 凹状部

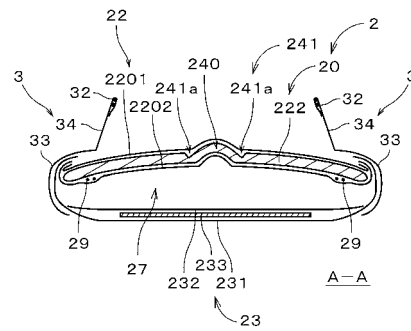
10

20

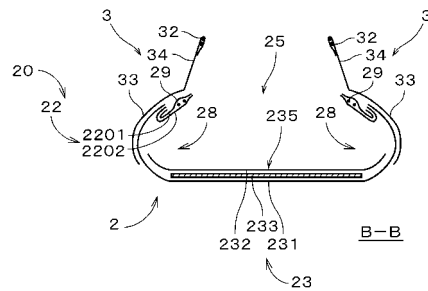
【 図 1 】



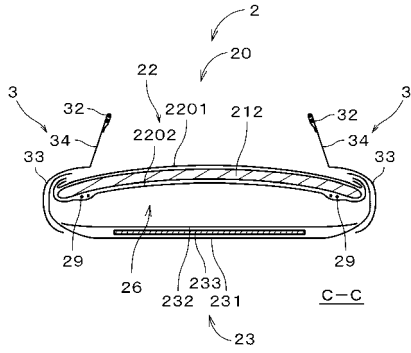
【 図 2 】



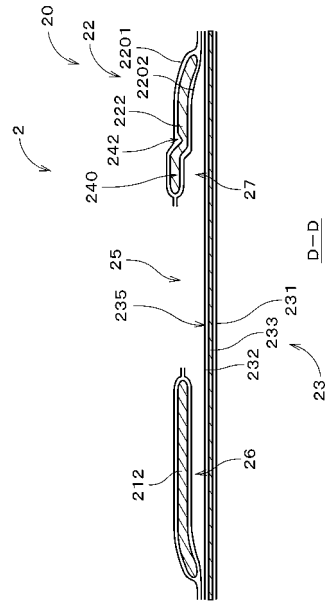
【 図 3 】



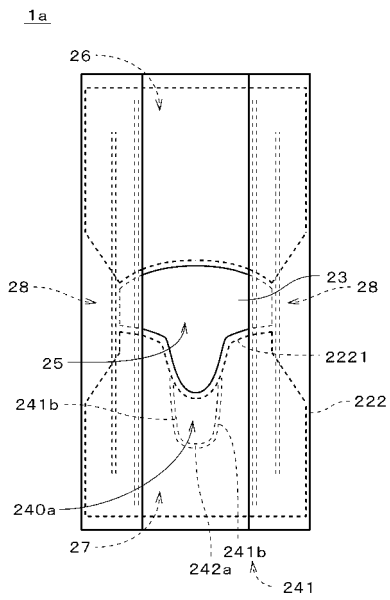
【 図 4 】



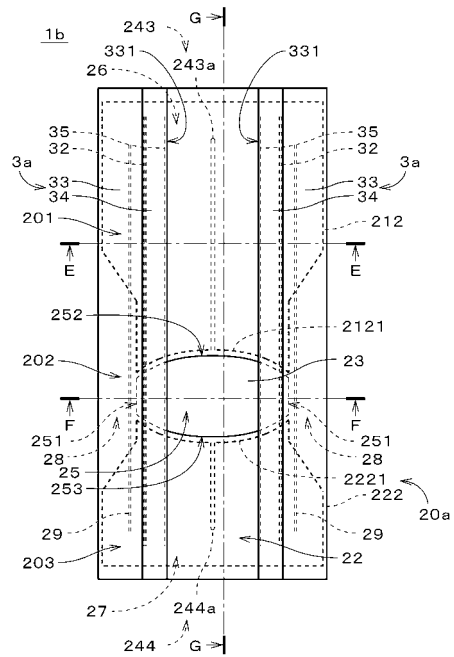
【 図 5 】



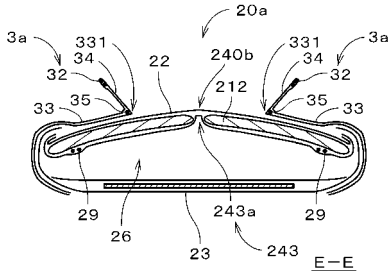
【 図 6 】



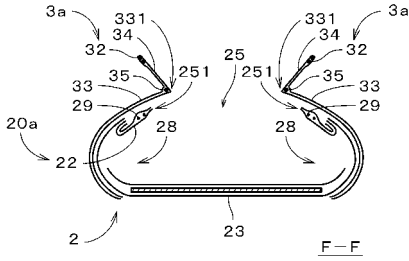
【 図 7 】



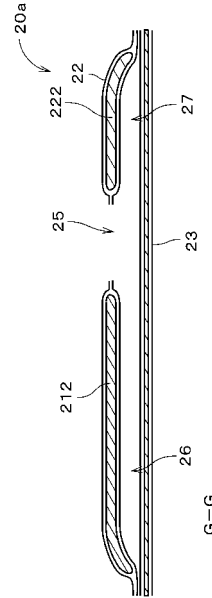
【 図 8 】



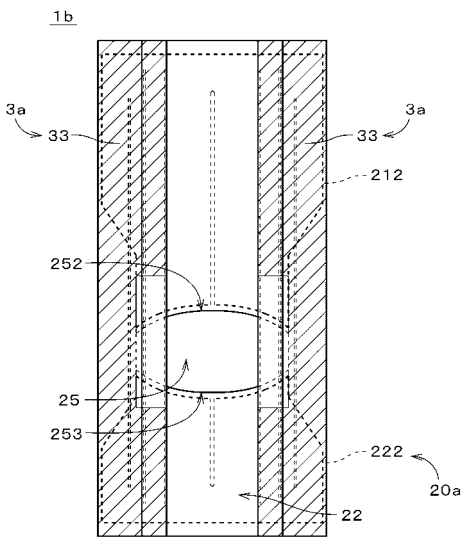
【 図 9 】



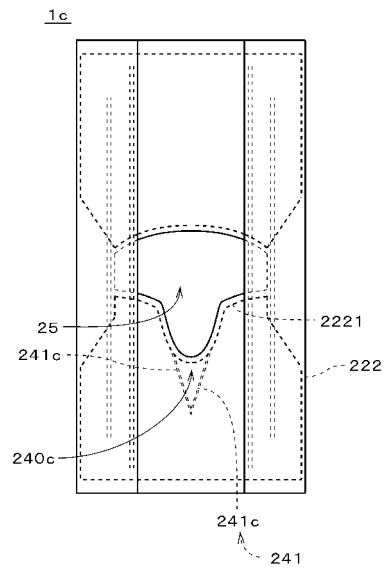
【 図 10 】



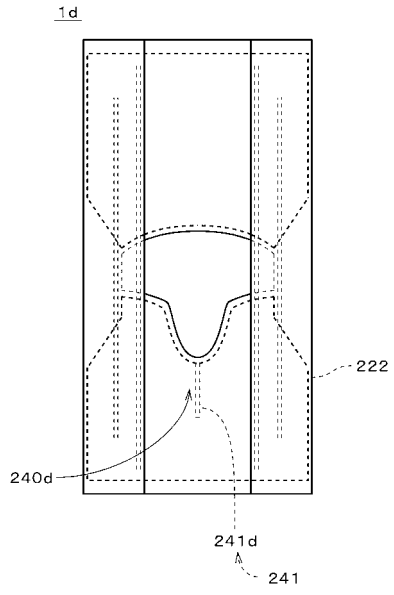
【 図 11 】



【 図 12 】



【 図 1 3 】



フロントページの続き

(72)発明者 三宅 浩史

徳島県美馬郡つるぎ町貞光字小山北 8 9 - 1 株式会社リブドゥコーポレーション徳島貞光工場内

Fターム(参考) 3B200 AA01 BA02 BA03 BA05 BB11 BB17 CA01 CA06 DA02 DB22

DB23 DB24 DB27